

北中城村第五次総合計画（案）に対する意見について

実施期間：令和7年1月14日（火）～2月5日（水）

意見件数：6件（3通）

意見		村回答	
No.	意見内容	対応方針	意見に対する村の考え方
1	<p>北中城村はこれといった産業が無いのが現状である。そこで観立村を打ち立てることを提案したい。 その理由としては次の点が考えられる。</p> <p>①位置的に有利であり、那覇空港から30分の位置にありライカムから本島各地点への発着地点になっていること。 ②中城城跡が世界文化遺産群になっていること。 ③景観がどの位置からもすぐれていること。 ④米軍関連の住宅、学校等が周辺に立地し国際村になりえること。 ⑤東海岸が海に面し海洋レジャー施設として活用できること。</p>	原文のままとする	<p>観光立村については、村の将来像「絆をつむぎ躍動する田園文化村」に包含しております。また、P20の基本目標3「魅力を活かし持続可能で活力があるむら」においても観光振興を位置づけています。 ご意見のとおり、ライカム地区の立地、本村の良好な景観や中城城跡などの歴史文化財、駐留軍用地が所在し東海岸に面した本村の特性を活かし、今後とも観光をはじめとして各種産業が発展し「躍動する」ようなまちづくりに取り組んでまいります。</p>
2	<p>村内の資源を十分に活用することを提案したい。</p> <p>①再生エネルギーとして山の斜面に太陽光エネルギーを活用すること。 ②海に垂れ流している水源を利用して農業用水として活用すること。 ③熱田漁港周辺に魚類の養殖を行うか県に沖合に漁礁を作るよう要請すること。</p>	原文のままとする	<p>①P81(2)「資源循環やクリーンエネルギーの活用」を方針に掲げております。本村の斜面緑地は景観や防災の観点から保全を図る必要がありますが、村における再生可能エネルギーの活用については、木枝などのチップ処理や再利用、バイオガス発電等の促進など、本村の特性と調和した取り組みを推進する旨を記載しています。 ②P67(3)「生産基盤の強化と生産性向上」を方針に掲げ、安谷屋地区において農業用灌漑施設整備事業を進めております。当事業において貯水池を整備し、湧水や雨水の有効活用に取り組んでまいります。 ③P69(1)「水産業の高付加価値化とブランド化の推進」を方針としており、水産業の新たな取組として「カキ養殖」の実証試験に取り組んでいるところです。今後も特色ある水産業の推進に取り組んでまいります。魚類の養殖、漁礁の要請につきましては、漁業者や漁業関係者等の意向を確認した上で必要性を検討いたします。</p>
3	<p>【施策4-2 自然環境の保全・活用と景観形成 P77(2) 公園などオープンスペースの整備と維持管理】 イオンモール沖縄ライカムにいる子供達がスケボーに乗って怒られている姿を目撃しました。大人たちは危ないから他所でやってくれと子供に注意していましたが、子供達には安全にスケボーを行える施設などが村内に無く「行き場」を失っておりです。注意する大人たちでさえもどこでスケボーをやってきてなど明確な答えが無く回答をにげて子供達の遊びを奪っているように感じております。</p> <p>①村内における公園配置状況などを勘案しながら、公園の整備を推進します。 ②誰もが使いやすい公園に向けて…</p> <p>上記の記載がございましたので、下記2点をご提案させていただきます。</p> <p>①健幸を大きく掲げる村なので例えば、身体を動かせるようなアスレチック（鉄棒エリア・ボルダリングエリア・スケートエリア）などが備えられた公園を村内に検討できる場所や予算がそもそもあるのか？ ②村内事業やイベントの際の駐車場の際の駐車場が絶対的に不足して、村が運営する村営駐車場を確保し税収を少しでも多く獲得することに繋げられないのか？</p>	原文のままとする	<p>①「身体を動かせる施設」については、健康づくりの観点からP57(4)「健康維持増進に資する市街地環境の充実」を方針に掲げ、健康維持・増進ができる公園やスポーツ・レクリエーション施設の充実について記載しており、地域住民等のニーズや必要性を踏まえた公園整備を進めてまいります。こどもの遊び場や居場所については、公園に限らず、P49(1)自治公民館等での居場所づくりへの支援等も実施することで、健全な青少年育成の推進を図ってまいります。 ②「駐車場不足」については、イベント開催時などの一時的な対応については、臨時シャトルバスの運行などを検討するとともに、コミュニティバスをはじめとした公共交通機関の利用促進や利便性の向上に取り組むことで駐車場対策や交通渋滞緩和に努めてまいります。また、村営駐車場については、村内で活用可能なまとまった用地確保が難しいことから、常設設備の必要性に加え費用対効果などの詳細検討が必要になるため慎重に進めていく必要があると考えております。ご意見を踏まえ今後の取り組みを進める上で参考とさせていただきます。</p>
4	<p>【重点目標3(3) 村民との協働まちづくり (P38)】 ライカム地区におけるコミュニティ組織の立上げ支援など、村民主体のまちづくりへの支援を図ります。 ➡コミュニティ組織とは新規自治会のことを指していると思いますが、重点目標に位置付けるのであれば、単に支援する立場ではなく、村民主体のまちづくりへの支援を行うために、「積極的に組織の立上げに取組む」として欲しい。</p>	原文のままとする	<p>「自治会の立ち上げ」は、あくまで地域住民主体によるものと認識しております。 村としては、住民主体の組織設立に向けた活動を継続して支援してまいります。</p>
5	<p>【基本目標3 施策3-5雇用の創出と就業支援 (P72)】 円滑な跡地利用に求めるものとして「本村の振興に資する産業誘致、雇用創出などが求められます。」とした方がより分かり易くなると思います。</p>	修正する	<p>ご意見を踏まえ、「産業創出」⇒「雇用創出」に修正いたします。</p>
6	<p>【基本目標4 施策4-1 村の発展に資する拠点形成 (P74)】 平成22年(2010年)7月に返還されたアワセゴルフ場跡地は、ライカム地区として大規模商業施設や病院などが立地するなど市街地形成が進んでおり、沖縄本島中南部の広域交流拠点に向けた取組が求められます。 ➡平成28年(2016年)4月には開業・開院しており、広域交流拠点は、既に形成されていると思いますので「広域交流拠点の発展が期待されています。」ではどうでしょうか。</p>	原文のままとする	<p>ご意見にあった「広域交流拠点は既に形成されている」という点について、村としては、広域交流拠点の形成に引き続き推進しているところですので、P75の(3)に記載している「多目的交流施設（仮称）の整備」など、ライカム地区の広域交流拠点形成に向けた取り組みを継続して進めてまいります。</p>